

◆活動報告(2016年4月)

(世銀日本基金拠出プロジェクト成果発表他)

2016年4月20日  
在グアテマラ日本大使館  
川原 英一



●ガルシア・インフラ大臣が日本大使館を訪問

4月に入り、ガルシア・インフラ通信住宅大臣が、当大使館事務所に表敬・懇談のため来訪されました。近々、日本から防災関連機材を引渡すことに対する御礼があり、日本が当国に建設中の円借款道路の現状・課題などについての意見交換も行いました。ガルシア大臣は、1月末に就任をされましたが、これまでの日本の当国への協力に対して大変に感謝されておられました。最近まで民間企業経営をされた方とお伺いしました。

●テレ・ディアリオ(当地大手TV)局への訪問(8日)

当国最大のTV放送視聴者数を有するテレ・ディアリオTV局を訪問して最近の当国のTV事情などお伺いしました。最近調査では当国のTV保有台数は1400万台を超える、同局は4つのTV放送局を保有、特にカナル3局の夜のプライムタイム放送番組視聴者は約2百万人との調査結果がありました。当方のTV局訪問の際の映像、そして、日本とグアテマラ2国間関係についての当方発言が、後日、朝・夜のニュース番組で放映されました。(左側2写真はカナル7放送局スタジオ内。右側写真は



はTVニュースで放映。当方右側は、放送施設を御案内頂いたサンド

バル技術部長。同部長は、90年代にNHK放送局で研修を受けたとお聞きしました。)

●当地主要紙によるインタビュー

当地主要紙(シグロ21)から、日本のグアテマラへの協力概要を取材したいとの要望があり、当方から、広範な分野での協力があること、当国の子供達の算数能力向上、母子健康増進、栄養改善、防災、文化遺産保存研究、その他にも地方での生活水準向上のため活動中であることを話しました。首都に住んでいる当国の方々には活動を目にする機会がないので、メディアを通じて、より多くの方が日本を身近に感じてほしいと



お話し致しました。また、技術協力の成果例として小学校の国定算数教科書（グアテマティカ）・教員指導書があること、日本での防災対策を参考に当国の CONRED（防災対策調整委員会）職員達が、当国での防災活動のため全国で使用しているマニュアル本などお見せしたところ、取材記者はこれまで見たことがなかったと正直に話していました。今後も日本の協力活動を多くの方に関心を示してもらうため、大使館から情報発信をしていく予定です。

### ●世銀日本社会開発基金拠出プロジェクトの成果発表(13日)

4月13日、市内ホテルで、世銀の日本社会開発基金の拠出により実際されたプロジェクトの成果発表会があり、当方、挨拶を致しました。気候変動のため乾燥地帯の旱魃が毎年発生する中、貧農村落52カ所、約8千名を対象とした住民参加型の農作物増産、栄養失調改善、植林による環境保全など総合的な取り組み内容のプロジェクトです。発表内容はどれも充実したものであり、同プロジェクトには地元のNGO団体が、地域住民と密接な関係を築き、村落毎の指導者を育成するなど、しっかりと活動しており、その結果、地域住民が活動をよく理解し、自ら率先して行動して、とても素晴らしい成果が出ていることが確認できました。発表会でプロジェクトに参加した地域住民代表の証言発言は自信にあふれた内容で、この活動が将来も住民のイニシアティブにより持続可能な形で実施されることが理解出来ました。出席

頂いたメンデス農牧大臣(左上写真の左から4人目)から、こうした素晴らしい試みが他地域でも今後普及することを大いに期待しているとのご発言もありました。この発表会に合わせて大使館から働きかけをしたところ、当国最大の視聴者数を有するTV局(カナル3)の取材があり、同日夜7時台のニュースで数分間報じた(左写真)他、翌朝の当地主要紙(エル・ペリオディコ:右写真)には、当方写真入りの大きな記事が報じられていました。プロジェクトに関与したNGO代表からは、この発表会に関係各省トップ、メディア関係者をはじめ多数の方が集まってくれて、大変に良い成果発表が出来たとの喜びの感想が述べられました。

### ●IDB日本拠出プロジェクト関係者のグアテマラ訪問(11日)

IDB(米州開発銀行:本部ワシントン)日本基金から拠出したグアテマラの栄養改善プロジェクトの視察のため、IDB本部職員2名の方と財務省国際開発機関課今村補佐が、







11日から当国を訪問され、日本が拠出したプロジェクトサイトの視察を今回実施すること、また、IDB 機関内での各国支援プロジェクト業務、最近の JICA と IDB による中南米での質の高いインフラ整備のため従来の基金を 30 億に拡大して、日本企業の海外インフラ分野への進出の後押しをしたい旨お話しを伺いました。

当方から、当国グアテマラの貧困層人口が全人口の 6 割を占めていること、出産時の死亡率が極めて高く、栄養失調者も人口の半数を占めているといった社会事情を説明し、技術協力を鋭意実施中であることや、特に協力隊員らが母子栄養改善のための事業活動などを地方で着実に実施していることを説明致しました。

#### ◆訪日招聘者 (Juntos 人物交流事業) 他との懇談



今年 3 月に中南米各国の有識者などを対象に新たに訪日招聘事業 (Juntos) が開始されました。この事業に、グアテマラの発信力を有する有識者らが参加、訪日しました。その後、帰国した方々及び昨年 12 月、当地記者として訪日

招聘された方で日本特集記事を 5 回にわたり当地紙に掲載してくれたベテラン記者、元国費留学生で現在元日本研修生の会長をされている方などを公邸に招き、日本での驚くべき体験・知見を大いに語って頂きました。当方からの助言を受け、これら有識者が所属している国立サン・カルロス (USAC) 大学、私立大学などで、今後、何回かに分けて訪日者が自ら「日本を大いに語るトーク番組」を学生・社会人向けに行うための準備を進めてくれています。なお、USAC は、全国 20 県にキャンパスを有して学生数が 20 万人を超える大規模な大学です。

#### ◆中米議会議長の当大使館来訪



18 日午前、アルバラード (José Alvarado) 中米議会議長 (ニカラグアの元保健大臣や教育大臣など歴任、左写真左側の方) が当館を訪問されて、熊本で発生した地震により犠牲者となった方々への弔意と被災者とともにあるとの連帯の気持ちを述べられました。当方から、被災地では未だ地震が数多くあり、被災者は大変厳しい状況に置かれていること、このような最中に中米議会議長から大変に暖かいお気持ちをお伝え頂いたことに深く感謝を申し上げます。

同議長からは日本は中米地域で大変に多くの支援を実施してくれており、この機会に改めて日本に対して大変に感謝を申し上げたい、また、自分 (同議長) は、日本に対して兄弟のような思いを持っているとも述べておられました。

6月以降、通常総会や中米首脳会合がニカラグアで予定されていることから各国との準備を進めていること、中米議会議長として、検討テーマを絞り込み効率的な協議ができるよう、各国との連携を今後強化するとのお話も併せて伺いました。

### ●JICA 事務所長の新旧所長交代挨拶

グアテマラで3年間にわたりご活躍をされた前田英夫所長が4月下旬に帰国することとなり、後任の富安新所長と挨拶に来られました。当国の政権の交代、同じ政権でも次官クラス以下の交代も頻繁なため、技術協力を進める日本の協力について、一貫して業務を円滑に遂行していくことに大分御苦勞をされたようです。新旧両所長の今後益々のご活躍を御期待しております。



### ◎グアテマラで今が花盛り

1500メートルの高地にある首都グアテマラ市内近郊で桜に似たお花が満開の季節になりました。日本の桜に比べてやや大型の花びらで、「Matilisguate」と呼ばれています。左写真のように日本の八重桜のような印象を受けます。市内のあちこちで咲いております。ブーゲンビリアやジャカラダの花もこの時期に咲



いており、大変に美しい花が真っ盛りの状態がしばらく続いています。 (了)